



株式会社ディアーズ・ブレイン  
代表取締役社長 **小岸弘和** さん  
大和郡山市出身 東京都世田谷区在住

郡山城址と、お堀端の西公園、そして永慶寺の境内が格好の“秘密基地”として育った自分にとって、故郷の情景とは、お城祭りの満開の桜や新緑、紅葉、そして桜花グランドから聞こえてくる掛け声に、当時実家で母が教えていたピアノの音色が重なり合ったものが溢れ出てくる。

高校卒業後、奈良を離れ、さらには転勤で東京に移った。そんな自分が2001年に東京で起業し、2004年から結婚式場の運営に乗り出し全国展開を開始した後も、奈良への出店構想は全くなかった。奈良のマーケットの難しさを誰よりも理解していたからだ。それが猿沢の池のほとり、興福寺の五重塔を借景にした素晴らしい場所に巡りあった。そこは歴史を重ねられた魚佐旅館があった場所。「この場所に最も似合う施設を我々で創り上げたい」という思いに駆られ3年越しのプロジェクトがスタートし、昨年7月『KOTOWA奈良公園Premium View』が

完成した。プロジェクトを進める中、改めて日本における奈良の存在意義とポテンシャルを認識した。その間、懐かしい友人たちと時間を持つこともできた。新たに動き出したこの「幸せのステージ」が奈良の新たなランドマークになるよう、さらに走って行きたい。

小岸弘和

## 人権コーナー

毎月11日は  
人権を  
確かめあう日



てんいち先生 ひかりちゃん

### 今月の標語

あなたの手  
握れば 拳 つなげば 絆

たなか ちかこ  
田中 千嘉子さん

### 今月のポスター



葛城市立  
新庄中学校 3年  
なかい けいじ  
中井 柚希さん

## ～色とりどりのランドセル～

春爛漫。県内でも、真新しいランドセルを背負った1年生の姿を見かける季節となりました。最近では、ランドセルも多様化し、通学路は華やかに彩られています。

そう言えば、我が家の隣のお子さんも、水色の真新しいランドセルを誇らしげに見せてくれました。ちなみにそのランドセルの主はお嬢さん。ランドセルと言えば、男の子は黒色、女の子は赤色が当り前であった私の子ども時代、女の子ながら漆黒のランドセルに憧れの眼差しを送っていた身には、それぞれがお気に入りのランドセルを選べる今の子どもたちが羨ましく感じられます。

ランドセルの色に限らず、私たちの暮らしの中には、無意識のうちに「女(男)だから……」、「男(女)のくせに……」といった固定観念が潜んでいることがあります。こうした社会的・文化的に作られた性別(男らしさや女らしさ)をジェンダー意識と言います。このような意識に縛られると、自分らしさが失われ、生きにくさを感じることに繋がります。

誰もが好みのものを自分で選び、無理なく自分らしさを発揮できるような人生を送りたいものだと思います。色とりどりのランドセルを見るにつけ、新しい時代の足音が聞こえてくるようで、思わず心弾む春の訪れとなりました。

## クイズ&プレゼント

〇〇〇〇に当てはまる  
数字を教えてください。

Q 奈良県の平成27年度2月補  
正予算と平成28年度当初予  
算をあわせた予算額は?

A 〇〇〇〇億円

ヒントは6ページ

2月号の答えは“リデュース”でした。応募総数820件。

正解者の中から抽選で

「奈良の木  
コースター(4枚セット)」を  
5名の方にプレゼント!



※個人情報、プレゼント発送以外には利用いたしません。

締め切りは4月30日  
(消印有効)

ハガキに答えと、住所、氏名、年齢、電話番号、「県民だより奈良」の感想(良かったコーナー・取り上げてほしい話題・改善点など)を記入して、〒630-8501(住所記入不要)奈良県広報広聴課へ。  
HP([www.pref.nara.jp/30222.htm](http://www.pref.nara.jp/30222.htm))からも4/1以降応募できます。